

平成27年8月21日

深津絵里さん出演のテレビCM『あの人の』シリーズ第三弾、完成！

昔話のあの人の未来を診断！

未来診断の新TVCM完成！

平成27年8月22日(土)より全国にて放映開始！



『あの人の生活保険』篇(30秒)(15秒)

住友生命保険相互会社(社長:橋本雅博)は、CMキャラクターとして深津絵里さんを起用し、当社のコンサルティング&サービスである『未来診断』をテーマとした、シリーズ第三弾『あの人の生活保険』篇を、8月22日(土)より、全国で放送いたします。



住友生命保険相互会社では、平成23年度から新ブランド戦略を展開しており、“あなたの未来を強くする”というブランドメッセージの下、お客さまが自信と希望をもって未来に進むための“力”になれるよう、「いつもいつまでも続く」コンサルティング(未来診断)とサービス(未来応援活動)に力を入れています。

この度、放送が開始される新CM『あの人の生活保険』篇は、前作の『あの人の老後』篇に続き、当社ライフデザイナーに扮した深津絵里さんが、おなじみの“昔話”の世界に登場。今回の舞台は、誰もが知っている“鶴の恩返し”の世界です。

深津さんがタブレット型モバイルパソコン「SumiseiLief(スミセイリーフ)」を活用し、登場人物のおつるさんをコンサルティングする様子を、コミカルでテンポよく描き、『未来診断』が気軽に体験できるコンサルティングであることを訴求してまいります。

CM関連情報は住友生命公式ホームページ、公式 Facebook ページ、住友生命 YouTube 公式チャンネルでも公開しています。

住友生命公式ホームページ：<http://www.sumitomolife.co.jp/>

住友生命公式 Facebook ページ：<http://www.facebook.com/sumitomolife>

住友生命 YouTube 公式チャンネル：<http://www.youtube.com/user/SumitomolifeOfficial>

CMストーリー

舞台は誰もが知っている昔話、「鶴の恩返し」の世界。

「素敵な仕上がり。」

ライフデザイナー役の深津さんが、おつるさんが織った反物を見ながら感心しています。

「いいよね？」と、少し誇らしげなおつるさん。

「働けなくなるリスクって考えたことありますか？」

深津さんが、(自分の羽で反物を織っているため)少し痩せたように見えるおつるさんを心配しながら、「働けなくなるリスク」について問いかけると、おつるさんは神妙な面持ちで深津さんの声に耳を傾けます。

「生活保険ってご存知ですか？」

万が一、自分が働けなくなったときのリスクに備えて、手元のタブレット端末を見せながら、優しく語りかけるように「生活保険」という新しい保険の考え方を提案します。

そこに突然、隣の部屋から父が現れ、

「おつるー！ 爪切りどこ！？」

「だから勝手に開けんなって！！」

少し呆れた口調のおつるさんと父の喧嘩が始まりますが、深津さんに気付いた父は丁寧にお辞儀をします。

「あ、戸、開けちゃうんですね」

最後は、開けてはならないはずの戸を、簡単に開けてしまった父に、少し戸惑った表情の深津さんのアップで締めくくられています。

本CMでは、深津さんとおつる、父のテンポの良い会話を通して、「未来診断」が気軽に体験できるコンサルティングであることを訴求しています。



■撮影エピソード

今回の新TVCMは、「鶴の恩返し」をモチーフとした、おつるとその父、そして「未来診断」をする深津さん演じるライフデザイナーのお話。深津さんとおつるの会話、そして、父の登場に、「あ、戸、開けちゃうんですね。」という深津さんの何とも言えない表情が印象的で、心に残るCMとなっています。



撮影当日は、梅雨明けのじめじめとした暑い夏の日でしたが、スタジオの中は、まさに「鶴の恩返し」の世界を思わせる、真冬の伝統的な日本家屋のセット。CMの世界観を追求するスタッフのこだわりが強く感じられました。深津さんの完璧な演技もあって、撮影はテンポよく進み、時折、おつる役の仁村さんと、父役の本城丸さんとのコミカルな掛け合いの合間に、思わず少しはにかんでしまう深津さんの笑顔が印象的でした。

■「未来診断」「生活保険」について

■未来診断

お客さまの現在の収入・支出や将来の収支計画等をもとに、「万一」「介護」時はもちろん、夢や明るい未来を実現するために必要な備えなど、さまざまなシミュレーションができるコンサルティングサービスです。

当社営業職員がお客さまのもとにお伺いし、「SumiseiLief(スミセイリーフ)」を使って、この「未来診断」を分かりやすくご説明いたします。

■生活保険

当社では“働けなくなるリスク”に備える保険を『生活保険』と名付けております。

「生活保険」という新しいカテゴリーを表す名称を通じて、病気やケガで仕事や家事をすることができない(就労不能)状態や、生活に一部介助を要する(要介護)状態に備えておく必要性を、広く世の中に伝えていきたいと考えております。

■CM担当者の声

この度、昨年から放映しております「未来診断・昔話」シリーズのCM第3弾が完成しました。今回のモチーフは、昨年5月放映の第1弾「竹取物語」、8月放映の第2弾「浦島太郎」に続き、「鶴の恩返し」です。

第2弾の浦島太郎モチーフの「あの人の老後篇」は、昨年8月からの放映でしたが、その後昔話をモチーフとした素晴らしいCMがいくつも放映されたために、「真似をしている」という声が広がり、少し残念な想いでございました。

ただ、よく考えてみると、こうしたCMのおかげで、日本の昔話に再び光があたり盛り上がっていくことは、むしろ、ありがたいことだと思ひ直し、「ここは仕返しなどではなく、むしろ恩返しをしないと」という発想で、「鶴の恩返し」のテーマに決まりました。

日本の昔話が長く愛されてきたように、当社の展開しております「未来診断」の良さが多くの方に広まり、「働けなくなるリスク」に備えることの大切さが伝わることを願っております。